

大震災後 8 ヶ月立っても、心の内にも大きな余震が…

大震災から 8 ヶ月が立ったが、被災者の心の内にも質の異なる大きな余震が続いているよう。

津波で家をなくした方から、心の内の余震の様子メールが届いた。

【 震災後、八か月を過ぎて生活が少しずつ落ち着いてきて普通に暮らしているのに、なぜか、どこか壊れているように感じます。どこが？と聞かれても……？

前は、物忘れがひどくなった、イライラする、なんか疲れがとれない、と具体的に言っていました、よくわからないけど、なんかどこかが違う、だから、壊れているとしか表現できないそんな感じです。

あれだけの事があったんだから、どこか壊れても当たり前だよ、と主人と話しています。 】

震災後時間が立っても言葉でうまく表現できない気持ち…、何となく解るような気がする。

全くと言っていい程我が家に被害のなかったこの自分ですら、あの震災後は自分自身の考え方、気持ちの持ち方等にどこか変わったような気がしているが、何がどう変わったのかはうまく表現できない。

我が家の道路を挟んだ斜め向かいの外見的には被害がなかったと見えたお宅が全壊判定で、ようやく解体の順番が回ってきたとかで、先月末に仮住居へ引っ越して、2, 3 日前に解体作業が終わり更地に。

大震災から 8 ヶ月過ぎたというに、こうしたご家族の現実を目の前に見せられると、更につい……。

津波で甚大な被害を受けられた方々は、日が立っても我々の想像し難い心の内の余震が続いているのではないだろうか。

幸いというか、メールを下された方は、こうした時期を乗り越えるヒントもくださった。

【 生活の次のステップが見つかりましたね、許しあえる家族。

想いを伝えることかな？ 心から大いに笑う事かな？ 生活の中での小さい嬉しい出来事を、大げさに喜び、そして分かち合い、共有することが大切と感じました。

悲しい出来事も大げさに悲しみ、そして分かち合い、悔しい出来事も大げさに悔しがり、そして分かち合う。

壊れてしまったものを修復する一番簡単な方法ではないかと思いました。

これができれば、仕事も暮らしもすべてうまくいきそうな気がします。

でもね、言うが易し行うは難しですから、紆余曲折が生きるってことなんですよね、(∩^∩) / 】